

まちどく
地域読書講演会

知られざる詩人 宮崎童安

越前市中央図書館では、資料展示「求道の詩人 宮崎童安」を開催しています。

展示に関連して、宮崎童安に関する調査を行ったことがある馬田昌保氏を招き、宮崎童安とはどのような人物だったのかご講演いただきます。

● 宮崎童安 (1888～1963)

本名・安右衛門。旧武生町生まれ。詩人、宗教家。漂泊の僧・桃水とうすいや良寛、キリスト教の聖フランシスなどの生き方に共鳴し、清貧の道を求める。『乞食桃水』『永遠の幼児』など多数の著作があり、死後も遺稿集が出版されている。

主に東京で生活するが武生へも帰郷し、地元の人々と交友を持っていた。有志によって市内に歌碑や生誕碑が建立されている。

★ あまり知られていない郷土人を知ることができる機会です。ぜひご参加ください。

日時 平成29年11月24日(金) 午後7時～午後8時30分

講師 馬田昌保氏

会場 越前市中央図書館 学習支援室

参加費 無料

定員 45名(要申込み)

申込先 越前市中央図書館 TEL 0778-22-0354

— 講師紹介 —

馬田昌保(うまだ まさやす)氏

- ・昭和14年、越前市生まれ。
- ・著作に『命令しあらざるも』『甘口、辛口、へらず口』『水仙は見ていた』『柴田勝家』など。



主催 越前市立図書館 問合せ先 中央図書館 越前市高瀬二丁目7-24 TEL 0778-22-0354